

新型コロナウイルス長期化に向けて企業が考えるべき真の意味での事業継続戦略とは？

【リスク分析の観点例】

分類	観点
調達	<input type="checkbox"/> 1社購買になっている部材はあるか <input type="checkbox"/> 一般的な仕様ではなく、特殊仕様となっている部材はあるか <input type="checkbox"/> 上記に該当する部材について、市場に調達可能なサプライヤーは存在するか <input type="checkbox"/> 重要部材のサプライヤーはどこに所在しているか（現地調達か、輸入か、等） <input type="checkbox"/> サプライヤーの事業継続戦略は把握できているか。自社と整合性は保っているか <input type="checkbox"/> サプライヤーはESG（環境・社会・ガバナンス）の観点で問題がないか
生産	<input type="checkbox"/> （拠点ごとに）他拠点で代替できない工程・ラインはあるか <input type="checkbox"/> 他拠点で代替できる場合、どの拠点で対応可能か。また代替する場合の条件はあるか（金型、特殊な治具の移設、人の応援要否等） <input type="checkbox"/> 自拠点が停止した際に影響を受ける後続工程はどこか <input type="checkbox"/> 生産委託をしている工程はあるか。ある場合、当該工程は内製化可能か <input type="checkbox"/> 委託先の事業継続戦略は把握できているか。自社と整合性は保っているか
物流	<input type="checkbox"/> 災害等により、通常ルートが通行できなくなった際の代替ルートは定めているか <input type="checkbox"/> 拠点・納入先・物流担当者間での緊急時の連携ルートが定められているか <input type="checkbox"/> 出荷が停止した際に影響を受けるのはどの工程か（物流としての次工程はどの拠点か） <input type="checkbox"/> 倉庫が機能停止した際の代替保管場所等は定められているか
販売	<input type="checkbox"/> 在庫はどの程度保有しているか <input type="checkbox"/> 供給責任のある販売先は可視化され、前工程（物流・生産等）と共有されているか <input type="checkbox"/> 地域ごとの市場規模を踏まえサプライチェーンは効率的か
人員	<input type="checkbox"/> 特定の人員に依存している工程はあるか <input type="checkbox"/> 多能工化の実施状況（自拠点内だけでなく、他拠点も含め） <input type="checkbox"/> 組織内の指揮命令系統、日本人駐在員の有無
システム	<input type="checkbox"/> バックアップデータは遠隔地保管されているか <input type="checkbox"/> ネットワークや、サーバーは冗長化されているか <input type="checkbox"/> デジタル活用によってサプライチェーンが可視化されているか
財務・経理	<input type="checkbox"/> 拠点間やサプライヤー間での決済の流れ（商流） <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況（サプライチェーンの停止にどのくらいの期間耐えられるか）
拠点機能	<input type="checkbox"/> 拠点として有している特許権、ロイヤリティ、特定の事業許認可、顧客からの供給責任の有無 <input type="checkbox"/> 本社、海外統括拠点との関係性、エスカレーションルート
税関	<input type="checkbox"/> 自社の生産部材の輸入や、製品の輸出に関する税関上の制約 <input type="checkbox"/> サプライチェーン全体の関税コストは効率的か